

桐生繊維業界の実態

平成16年1月～12月

桐生市繊維振興協会

桐生市繊維業界の概要

平成16年12月末現在

1.	調査対象団体数	13団体
2.	産地収入	
	(1) 生産高	282億5,888万円
	(2) 加工収入高	58億5,848万円
	(3) 販売高	76億9,650万円
	計	418億1,386万円
	※退会団体の収入(推定・前年対比(%) 97)	35億7,185万円
	計	453億8,571万円 (前年対比(%) 131)
3.	組合員数(事業所)	410事業所
4.	総従業員数(家族従業員含む)	3,222人
5.	一事業所当り従業員数	7人
6.	一事業所当り生産販売加工高	10,198万円
7.	年度別産地収入高	
	昭和57年産地収入	1,083億3,093万円 (前年対比(%) 98)
	" 58年	1,023億 634万円 (前年対比(%) 94)
	" 59年	976億1,960万円 (前年対比(%) 95)
	" 60年	917億1,760万円 (前年対比(%) 94)
	" 61年	853億4,182万円 (前年対比(%) 93)
	" 62年	804億5,848万円 (前年対比(%) 94)
	" 63年	783億8,548万円 (前年対比(%) 97)
	平成元年	841億7,076万円 (前年対比(%) 107)
	" 2年	931億1,687万円 (前年対比(%) 111)
	" 3年	908億7,740万円 (前年対比(%) 98)
	" 4年	1,001億1,232万円 (前年対比(%) 110)
	" 5年	893億2,611万円 (前年対比(%) 89)
	" 6年	845億3,438万円 (前年対比(%) 95)
	" 7年	733億6,672万円 (前年対比(%) 87)
	" 8年	678億3,478万円 (前年対比(%) 92)
	" 9年	616億9,017万円 (前年対比(%) 91)
	" 10年	528億4,669万円 (前年対比(%) 86)
	" 11年	473億6,503万円 (前年対比(%) 90)
	" 12年	444億7,222万円 (前年対比(%) 94)
	" 13年	416億8,724万円 (前年対比(%) 94)
	" 14年	376億2,047万円 (前年対比(%) 90)
	" 15年	346億0,005万円 (前年対比(%) 92)

※ 本調査は、桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に作成しております。(桐生商工会議所繊維部会、シルク・ルネッサンス桐生、桐生織伝統工芸士の3団体は、他の団体と重複の為、調査対策とせず)なお、団体の加盟及び脱会等により調査の対象が変わるため、前年対比は参考数字とさせていただきますので、予めご了承ください。

1. 組合員数及び従業員数

所属団体		組合員数 事業所	従業員数				従業員 平均年齢	
			従業員		家族従業員			計
			男性	女性	男性	女性		
桐生織物協同組合	広幅協議会	102	199 ^人	191 ^人	94 ^人	272 ^人	756 ^人	54 ^歳
	内地協議会	78	282	455	86	98	921	57
桐生染色協同組合		17	81	15	10	6	112	53
桐生繊維製品協同組合		26	180	397	32	29	638	47
桐生織物産地元売組合		6	9	5	5	5	24	48
桐生糸商組合		12	30	16	12	9	67	50
桐生刺繍商工業協同組合		44	84	130	74	70	358	54
東日本編レース工業組合		13	24	15	23	17	79	51
桐生意匠組合		15	4	4	5	7	20	48
桐生紋紙組合		15	12	3	18	14	47	55
東毛ジャカード刺繍協同組合		10	14	18	11	12	55	39
桐生織物買継商友会		12	6	3	11	9	29	58
桐生テキスタイル商業グループ		7	35	19	4	1	59	43
桐生和服裁縫組合		53	2	50	2	3	57	45
計		410	962	1,321	387	552	3,222	

- 注 (1) 平成 7年 1月 13日 群馬県綿スフ織物工業組合 解散し退会。
(2) 平成 7年 5月 17日 桐生織伝統工芸士会 入会。
(3) 平成10年 3月 31日 両毛輸出織物整染工業組合 解散し退会。
平成10年 3月 31日 両毛輸出スカーフ組合 解散し退会。
平成10年 3月 31日 桐生織物商業組合 解散し退会。
(4) 平成10年 4月 1日 桐生和服裁縫組合 入会。
(5) 平成11年 3月 31日 桐生金銀糸協同組合 解散し退会。
(6) 平成12年 3月 31日 桐生撚糸工業組合 解散し退会。
(7) 平成13年 3月 31日 桐生織物整経協同組合 解散し退会。

2. 生産、加工高及び受注（出荷）先区分（工業部門）

所属団体		生産高 (万円)	加工高 (万円)	計 (万円)	前対 年 比 (%)	取引先区分 (%)	
						県内	県外
桐生織物協同組合	広幅協議会	529,864	54,646	584,510	98	0	100
	内地協議会	402,245	0	402,245	94	0	100
桐生染色協同組合		0	77,670	77,670	96	52	48
桐生繊維製品協同組合		1,419,000	326,210	1,745,210	241	10	90
桐生刺繍商工業協同組合		41,145	44,468	85,613	95	100	0
東日本編レース工業組合		118,600	0	118,600	98	63	37
桐生意匠組合		10,275	0	10,275	79	84	16
桐生紋紙組合		9,017	0	9,017	87	87	13
東毛ジャカード刺繍協同組合		45,589	0	45,589	92	0	100
桐生テキスタイル商業グループ		250,153	74,954	325,107	170	1	99
桐生和服裁縫組合		0	7,900	7,900	93	80	20
計		2,825,888	585,848	3,411,736	147	12	88

3. 販売高及び出荷先区分（商業部門）

所属団体	販売高 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分		
			桐生市内	県内	県外
桐生織物産地元売組合	98,000	102	5	5	90
桐生糸商組合	628,000	97	59	10	31
桐生織物買継商友会	43,650	90	0	0	100
計	769,650	97	49	9	42

注 (1) 平成16年度調査より、桐生繊維製品協同組合及び桐生テキスタイル商業グループの調査対象企業に変更あり。

4. 内需向、輸出向区分

所属団体		内 需 向		輸 出 向		計 (万円)
		金 額 (万円)	割合(%)	金 額 (万円)	割合(%)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	526,510	90	58,000	10	584,510
	内地協議会	402,245	100	0	0	402,245
桐 生 染 色 協 同 組 合		75,562	97	2,108	3	77,670
桐 生 織 維 製 品 協 同 組 合		1,745,210	100	0	0	1,745,210
桐 生 織 物 産 地 元 売 組 合		98,000	100	0	0	98,000
桐 生 糸 商 組 合		628,000	100	0	0	628,000
桐 生 刺 繍 商 工 業 協 同 組 合		85,613	100	0	0	85,613
東 日 本 編 レ ー ス 工 業 組 合		116,710	98	1,890	2	118,600
桐 生 意 匠 組 合		10,275	100	0	0	10,275
桐 生 紋 紙 組 合		9,017	100	0	0	9,017
東 毛 ジャ カ ー ド 刺 繍 協 同 組 合		45,589	100	0	0	45,589
桐 生 織 物 買 継 商 友 会		43,650	100	0	0	43,650
桐 生 テ キ ス タ イ ル 商 業 グ ル ー プ		321,507	99	3,600	1	325,107
桐 生 和 服 裁 縫 組 合		7,900	100	0	0	7,900
計		4,115,788	98	65,598	2	4,181,386

5. 各団体の取扱品目

所属団体	品 目				
	割 合 (%)				
桐 生 織 物 協 同 組 合 (広 幅 協 議 会)	服 地	インテリア・ 資 材	ネクタイ	そ の 他	
	56	29	9	6	
桐 生 織 物 協 同 組 合 (内 地 協 議 会)	帯 地	広幅生地	服 飾 品	着 尺	
	70	13	11	6	
桐 生 織 物 産 地 元 売 組 合	帯 地	二次製品	着 尺	服 飾 工 芸	そ の 他
	69	10	5	6	10
桐 生 染 色 協 同 組 合	合 織	レーヨン・キュブ ラ・アセテート	綿・ウール等	絹	
	60	26	6	8	

所属団体	品 目				
	割 合 (%)				
桐生繊維製品協同組合	ブラウス	ニ ッ ト	ス ー ツ	ジャケット	そ の 他
	50	35	5	3	2
桐 生 糸 商 組 合	化 合 織	レ ー ヨ ン	綿 ・ ス フ	絹 ・ その他	
	61	25	9	5	
東日本編レース工業組合	インテリア	衣 料	資 材		
	75	16	9		
桐 生 意 匠 組 合	金 欄	インテリア	洋 反	帯	そ の 他 (輸出含)
	37	20	29	13	1
桐 生 紋 紙 組 合	紋 紙	エンドレス ペーパー	フロッピー (直織式)		
		100			
東毛ジャカード刺繍協同組合	ワッペン	Tシャツ	ワンポイント 刺 繍	トレーナー	そ の 他
	44	22	17	4	13
桐生刺繍商工業協同組合	婚礼衣裳	婚礼加工	ブラウス ニット加工	ハンカチーフ 加 工	雑 貨
	30	20	15	18	17
桐生織物買継商友会	帯	二次製品	着 尺	そ の 他	
	79	16	1	4	
桐生テキスタイル商業グループ	服 地	丸編ニット 生 地	トリコット	そ の 他	
	51	41	7	1	
桐 生 和 服 裁 縫 組 合	きもの全般	帯	長 襦 袢	コート・羽織	
	57	8	31	4	

6. 生産加工部門の現有設備状況

所属団体	設備名	数量	所属団体	設備名	数量
桐生織物(協) (内地協議会)	広幅織機	91	東毛ジャカード 刺繍(協)	コンピュータミシン	47
	並幅織機	936		プレス	13
	小幅織機	163		本縫いミシン及びその他の機械	41
	自動・レピア織機	206		プリント用製版	4
	計	1,396		計	105
桐生織物(協) (広幅協議会)	普通織機	1,026	桐生意匠組合	デザインシステム	32
	自動織機(片レピア含)	250		拡大機	5
	超自動(レピア)	408		コピー機	14
	計	1,684		計	51
桐生染色(協)	常圧噴射式染色機	80	桐生紋紙組合	デザインシステム	28
	高圧噴射式染色機	28		カードパンチ	15
	汎用染色機	35		横彫カットエンドレス	20
	チーズ及びケーキ染色機	43		ワンパンチ	13
	計	186		計	76
桐生繊維製品(協)	縫製ミシン	512	桐生刺繍商工業(協)	横振りミシン	70
	プレス	26		多頭式刺繍機	370
	裁断機	41		計	440
	その他	20			
	計	599			
東日本編レース(工)	ジャカード落下板付きラッセル機	28			
	ジャカード落下板付きコンピュータ機	7			
	チェーンラッセル機	50			
	チェーンラッセルコンピュータ機	8			
	計	93			

7. 最近の推移（16年10月～17年1月）

団体名	品 目				受注・引合の状況				販売（加工）単価の状況			
	増	変らず	下降	前年対比(%)	増	変らず	下降	前年対比(%)				
桐生織物協同組合		○		100		○		100				
桐生織物産地元売組合	○			110	○			103				
桐生染色協同組合			○	90			○	98				
桐生繊維製品協同組合			○	90			○	95				
桐生糸商組合			○	98		○		100				
東日本編レース工業組合			○	99			○	99				
桐生意匠組合			○	95			○	90				
桐生紋紙組合			○	87		○		100				
東毛ジャカード刺繍協同組合			○	95			○	98				
桐生刺繍商工業協同組合			○	95		○		100				
桐生織物買継商友会			○	90			○	95				
桐生テキスタイル商業グループ		○		100		○		100				
桐生和服裁縫組合			○	93		○		100				
計	1	2	10		1	6	6					

8. 平成16年（1月～12月）の状況、事業概要及び今後の課題

桐生織物協同組合

商品、消費者のニーズの変化について

ファッションサイクルが非常に短くなり、素材、デザイン等常に目新しい付加価値の高い差別化された商品を小ロットでの対応が要求される。

状況、事業概要

中国をはじめアジア地区の攻勢が続いており、国内景気の低迷、カジュアル化等で広幅服地関係は厳しい状況で推移し、資材、インテリア、ネクタイ等についても中国の影響が響き非常に厳しい状況で推移した。

小幅部門も浴衣の好況に引っ張られて夏物帯関係は順調に推移しているが、秋冬物関係が低迷しており厳しい状況で推移した。

今後の課題

ファッションの目まぐるしい変化に対応していかなければならず、市場の分析、ニーズ変化の分析先取り等消費者サイドのファッション傾向を的確に判断して対応していく必要がある。

桐生染色協同組合

商品、消費者のニーズの変化について

今年も引き継ぎ内需用服地、輸出用共に後染品が主力、厳しい状況であった。

状況、事業概要

和装用夏物に需要が一時的に有ったものの内需用服地・和装用並びに輸出用を含め金額、加工、数量、共に減少した。

ハンク染を行っている企業の一部で、秋には後継者難と加工業の減少で廃業者があった。

秋口からは燃料・染料及び助剤の値上げもあったが加工価格に転嫁できず、厳しい状況であった。

今後の課題

和紙を使用した製品の開発を、繊維関係他社と共同開発し一部では今後期待できる企業もあるが一般的には委託加工企業が多く手づまり状況。

京都議定書の政府の今後の取りあつかいについては、染色業界への影響も考えられ、今後について注目して行く必要がある。

桐生繊維製品協同組合

状況、事業概要

昨年度に比べて、20～30%の生産減と売上も20～30%減少している。それも海外生産の影響が大きな問題になっている。

大口ロットは、海外生産（中国）にシフトされ、国内は小ロット多品種の対応におわれ、加えてSPAを要求されている。小ロットによる生産ロスや低価格に限界を感じている。

今後の課題

繊維業界にかかわる人口の減少（高齢化と若年層の労働力の不足）により、生産対応が

難しくなってきた。

受注の安定化を計る為にも情報の共有化と組合が進めている協業化が急務と考えている。又、地場の利便性を考えたコラボレーションも視野に入れ、今後の対応を計る事が必要である。

桐生織物産地元売組合

商品、消費者のニーズの変化について

大飯店（スーパー等）では外国製（主に中国）の低価格の商品を重点的に販売し、物量の戦争に入っている。

百貨店、専門店では日本製の個性のある商品のウェートが高くなっている。

状況、事業概要

夏物→浴衣関連の帯等がよく売れている。

秋冬物→低価格の商品が多く販売されている。

桐生産地としては、袋帯、祝帯、細帯、京袋帯等の生産が多い。

今後の課題

商品リスクをどこが持つかという問題がこれから大きくなる。

桐生産地としては、付加価値の高い商品の開発が必要。

桐生刺繍商工業協同組合

商品、消費者のニーズの変化について

技術開発力を必要とされる国内の刺繍業態に対し、現在要望されている加工技術は刺繍に限らず、他方面の複合技術との密接な連携を必要とした分野に入っている。

状況、事業概要

量産品は海外となっているが部分的にまた国内にもどってきている分野もある。

技術的な分野など。

今後の課題

二次加工全般を含めた他業種との連携により、他産地にはない特色あるものを発進する。

東日本編レース工業組合

商品、消費者のニーズの変化について

日本は欧米スタイルの衣、食、住を取入れた衣、食は欧米並みになったが、内装やインテリアも含めた住だけは今でも遅れている実情であるので、生活者の価値観に合致した製品開発が急務であると思われる。（発想の大転換が必要である）

状況、事業概要

近年の生活者はこれまでと違った価値観が変化している。こうした生活者の価値観の変化を無視した既存の概念に固執したモノ作りでは買い替え需要を喚起することは不可能に近い。生活者の価値観に合致しない商品は、どんなに安価であっても機能的に、また質的に優れていても生活者に受け入れてもらえない。生活者は豊富な情報をテレビや雑誌、海外旅行などで把握している。従って普遍的な品物では決して満足しない。物作りは現在の

概念にとらわれ過ぎてはならない。

今後の課題

新商品規格開発等は世界市場へ進出が出来る様な商品の規格設計の発想の大転換が急務であると思われる。

桐生意匠組合

状況、事業概要

売上減少。

今後の課題

当組合は、全部受注形式である。

事業所でも売上ゼロというところもあり、組合も協同から任意になり仕事をしてないが仲間でいたいという意志で加入している人もいます。

得意先が縮小や廃業等になると我々も当然廃業せざるをという状況にまで来ている。

桐生織物買継商友会

商品、消費者のニーズの変化について

A 和装に関しては、若年層の一部の人に関心が高くゆかたやリサイクル着物の売れ行きが順調の様である。次のステップとなる合織きものや帯につながるか今後大いに注目するところである。

B 祭やイベント等が各地で盛んに行われる様になり、関連商品の売れ行きが増えている。

状況、事業概要

A 不況による需要の減少と川上業種の廃棄等により、前年度よりも10%弱程度落ち込んでいる。

B 中国製品の影響を受け、適正価格が守れずに厳しい。

C ホテル関係がリネン等を暫らく新調せずにはいたが、大都市を中心に、新築改装が行われたので、きものや帯が多少動き始めている。

今後の課題

各集散地の卸商社の問屋機能が集せず弱体化に拍車がかかり販売量及び経営内容に対し憂慮している。

企画を持ってない卸商社は存在が難しくなるかと思う。

又、産地に問われる点は、新商品開発が益々重要な部分となり、提案をうけこなせるかが、各企業の優劣を決める大事な要素となると思います。

桐生テキスタイル商業グループ

商品、消費者のニーズの変化について

桐生産地の商品は、高品質・高価格で、ミセス、シルバー向けが多いが、今までのようなミセス物が販売不振に陥っている。流行の変化によりキャリア・ヤングファッションの要求が増えているが、価格面でマーケットの要求に答えられず苦戦している。

状況、事業概要

商社や企画会社による中国を中心とした製品の海外生産が増加の一途を辿り、アパレルの独自のものづくりができない傾向になっている。さらに中国の素材を使った中国縫製品も増えており、価格競争は一段と激しさを増している。その結果、桐生産地の多品種、高価格の個性的な商品は取り扱いが厳しく、見込み買い付けが減少し、昨今、小ロット化が進んでおり、勢い受注は減少している。

今後の課題

現在、デパートの同質化が問題になっている。即ち、同じような商品しか品揃えしておらず、消費者は魅力を感じていない。また、デフレが消費者の二極化傾向をさらにハッキリさせてきており、価格勝負か高品質かの選択を強めている。さらに、日本の消費者は、価格が安いだけでは商品を選ばない傾向が強くなっており、高感度・高品質の素材がいま求められている。

桐生産地にとってはチャンス到来と言えるが、世界で認められるような高技術、高感度の商品を生み出すことが急務だ。企画力、高技術、高感度、クイックデリバリーと課題は多く、産地全体のレベルアップが絶対条件である。

桐生和服裁縫組合

商品、消費者のニーズの変化について

消費低迷の中、高額品（100万円以上）の仕立が徐々に出てきているようである。特に名産地の特色ある商品が好まれているようです。

状況、事業概要

仕事量は、減少気味の中、納期の短い注文が多く、又反物販売における利益の減少を補うために仕立て工料からマージンを取るといった傾向も見受けられます。

今後の課題

仕事量の減少、加工量の低下、海外縫製やブローカーの進出など、より多くの影響が有るという意見が大手を占めている状況ですが、きもの人は増強に努め大きな波に押し流されないように頑張っていくことが必要に思われます。

桐生市繊維振興協会加盟団体名簿

(平成17年3月31日現在)

団 体 名	代表者名	所 在 地	電 話
桐生織物協同組合	柿沼洋一	桐生市永楽町5-1	0277-43-2511
桐生染色協同組合	塚本祐平	新田郡笠懸町阿左美470-19	0277-40-5152
桐生商工会議所繊維部会	木村俊一	桐生市錦町3-1-15	0277-45-1201
桐生繊維製品協同組合	大川泰正	" 広沢町2-3368 大丸縫製(株)内	0277-52-6061
桐生織物産地元売組合	木村俊一	" 相生町2-230-1 (株)小野木商店内	0277-53-5131
桐生糸商組合	佐藤剛司	" 巴町2-1832 佐藤(株)内	0277-44-3135
桐生刺繍商工業協同組合	下山勝	" 永楽町6-6	0277-22-7919
東日本編レース工業組合	中野隆雄	" "	0277-22-3847
桐生意匠組合	大澤純一	" 永楽町5-1 桐生織物(協)内	0277-43-2511
桐生紋紙組合	丹羽弘始	" 広沢町1-2556 丹羽倉紋工内	0277-54-4793
東毛ジャカード刺繍協同組合	西村千春	" 新宿3-7-34	0277-43-1166
桐生織物買継商友会	島崎英三	" 本町1-3-18 島崎商店内	0277-47-4000
シルク・ルネッサンス桐生	青木軍次	" 広沢町4-2423-1	0277-54-2584
桐生テキスタイル商業グループ	阿部高久	" 永楽町5-1 桐生織物(協)内	0277-43-2511
桐生織伝統工芸士会	江原毅	" 永楽町5-1 桐生織物(協)内	0277-43-2511
桐生和服裁縫組合	山本文江	" 巴町2-1810-17	0277-43-2244

事務局 財団法人 桐生地域地場産業振興センター内

〒376-0024 桐生市織姫町2番5号

TEL (0277) 46-1011 (代表)

FAX (0277) 40-1300